[様式 11] 807~809

第二種奨学金「利率の算定方法」変更届

独立行政法人

日本学生支援機構理事長								
下記のとおり届出しますの	で、「利率の算	定方法」の変更を	お願いし			^{西暦)} 年	月	日
大学 (院)					西暦	年	月	В
短期大学	学部	学科 (科)	年次	生年月日	L/B	(満		
学校	課程	研究科	学年	学 籍				
				田 ク			†	
奨 学 生 番 号	フリ	リガナ					・太枠線内 事項は正確	
8 0 0	氏(自	名 (2)				(印) 🕈	なく記入し、 え学校に携	,押印のう
	(6)	目)				********	76 7 12(-12)	гш / Фо
私は、貴機構の第 利率固定方式 利率見直した。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大式が。 ださい。 「利率の算定方法がでいる。」は時に採用された。」は、貸与期間は必ず在	への変更を届 法」変更届は、平 「利率の算定方法 奨学生は提出でき 中の一定期間変更	は 成19 ⁴ 成29 ません。 ません。	ます。 E4月以降 更する際に	に奨学提出す	生としてるもので	ぎす。	•
■保証制度(必ず記入して 保証制度 (該当を / で選択	連帯保証	 人承諾欄 (※確認書での算定方法)を変更する			は、必ず	承諾を受ける	ること)	
保証制度 (該当を ▽ で選択	連帯保証上記の者が「利率の	.人承諾欄 (※確認書の算定方法」を変更する で算定方法」を変更する	ることを承謀		は、必ず	承諾を受ける	/ 実	
保証制度 (該当を 🗸 で選択	連帯保証上記の者が「利率の	の算定方法」を変更する 重帯保証人 氏 名	ることを承謀		は、必ず	承諾を受ける		
保証制度 (該当を ▽ で選択	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける)	の算定方法」を変更する 正帯保証人 氏 名 (T) (現) (現) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日	ることを承請	します。	育支援協会	全に委託しま	実印	
保証制度 (該当を V で選択 □人的保証 (右欄を記入)	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける: 保証料は貸与金額	の算定方法」を変更する 正帯保証人 氏 名 [1]) 「関学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学	ることを承認 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会	します。 人日本国際教 が差し引いて同	育支援協会]協会に支	会に委託しま 払うこととし ^っ	実印	
保証制度 (該当を V で選択 □人的保証 (右欄を記入) □機関保証	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 破産等)中の場合は、本	の算定方法」を変更する 正帯保証人 氏 名 [1]) 「関学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学	ることを承認 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会	します。 人日本国際教 が差し引いて同	育支援協会]協会に支	会に委託しま 払うこととし ^っ	実印	
保証制度 (該当を V で選択	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本	の算定方法」を変更する 世帯保証人 氏 名 (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D)	ることを承討 会 会 会 会 は 会 は 会 大 会 は は は と 生 支援機構 連 帯 保証 人	します。 人日本国際教 が差し引いて同 変更・転居届」	育支援協会 別協会に支 を提出し、	会に委託しま 払うこととし ^っ	実印	
保証制度 (該当を ② で選択 □人的保証 (右欄を記入) □機関保証 ※機構届出の連帯保証人が債務整理(配 ■本人が未成年者の場合 上記の者が、現在貸与を受	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本	の算定方法」を変更する 世帯保証人 氏 名 (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D)	ることを承討 会 会 会 会 は 会 は 会 大 会 は は は と 生 支援機構 連 帯 保証 人	します。 人日本国際教 が差し引いて同 変更・転居届」	育支援協会に支 が最出し を提出し	会に委託しま 払うこととし ^っ	実印	
保証制度 (該当を ✓ で選択	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本	の算定方法」を変更する 世帯保証人 氏 名 (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D)	ることを承討 名 ・公益財団法 生支援機構 連帯保証人	します。 人日本国際教が差し引いて同変更・転居届」 同意します	育支援協会に支 を提出し 。	会に委託しま 払うこととし ^っ	実印	
保証制度 (該当を ✓ で選択 ○ 人的保証 (右欄を記入) ○ 機関保証 ※機構届出の連帯保証人が債務整理(係 ■ 本人が未成年者の場合・上記の者が、現在貸与を受 〒 親 住 所 (親権者・後見人) 古 氏 名	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本	の算定方法」を変更する 群保証人 氏 名 (月) (関学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学 で属提出前に「『確認書』	ることを承討 名 ・公益財団法 生支援機構 連帯保証人	します。 人日本国際教 が差し引いて同 変更・転居届 同意します	育支援協会に支 を提出し 。 ・ 号	会に委託しま 払うこととし ^っ	実印	
保証制度 (該当を ② で選択 □人的保証 (右欄を記入) □機関保証 ※機構届出の連帯保証人が債務整理(項 ■本人が未成年者の場合 上記の者が、現在貸与を受 程 併 所 (親権者・後見人)	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本	の算定方法」を変更する 群保証人 氏 名 (月) (関学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学 で属提出前に「『確認書』	ることを承討 名 ・公益財団法 生支援機構 連帯保証人	人日本国際教 が差し引いて同 変更・転居届」 同意します 電話番 (昭和・ 生年月	育支援協会に支 を提出し 。 : : 号 平成) 日	会に委託しま 払 うこととし て てください。	(実 _印) すので、 てください。	
保証制度 (該当を ② で選択 □人的保証 (右欄を記入) □機関保証 ※機構届出の連帯保証人が債務整理(項 で	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本	の算定方法」を変更する 群保証人 氏 名 (月) (関学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学 で属提出前に「『確認書』	ることを承討 「公益財団法機構構体保証人	人日本国際教 が差し引いて同 変更・転居届」 同意します 電話番 (昭和・	育支援協会に支 を提出し 。 : : 号 平成) 日	会に委託しま 払 うこととし て てください。	(実 _印) すので、 てください。	
保証制度 (該当を ② で選択 ○ 人的保証 (右欄を記入) ○ 機関保証 ※機構届出の連帯保証人が債務整理(係 ● 本人が未成年者の場合・上記の者が、現在貸与を受 〒 親 佐 所 (親権者・後見人) 氏 名 (自署) は	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本	の算定方法」を変更する 提帯保証人 氏 名 (月) (関学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学 に属提出前に「『確認書』 こついて本申請を名	ることを承討 「公益財団法機構構体保証人	人日本国際教 が差し引いて同 変更・転居届」 同意します 電話番 (昭和・ 生年月 電話番	育支援協会に支 を提出し 。 ・ ・ 号 平成) 日 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	会に委託しま 払うこととして てください。 年	すので、cください。	
保証制度 (該当を ② で選択 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本のみ記入 上けている奨学金 したで、通常は両親です。通常は両親です。	の算定方法」を変更する 正常保証人 氏 名 印) 要学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学 一届提出前に「『確認書』 こついて本申請を行 印 印してください。親権者が、 両親がいる場合は、必ず	ることを承討 名 - 公益財団法 生支援機構 連帯保証人	します。 人日本国際教に対してに変更・転居届 一 電話番 (昭和・月 電話番 (昭和・月 番 ・ 電話番 ・ 世年 ・ 日 日 ・ 日	育支援協会 に支 を提出し ・ ・ 号 平日 ・ ・ 号 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	会に委託しま 払 うこととし て てください。 年 であれば必	東田 まままで、 ままままで ままま ままま ままま ままま まままま まままま	日 してくださ
保証制度 (該当を ② で選択 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本 のみ記入 とけている奨学金し とれぞれの欄に自署・押日 とせで、通常は両親です。 いる場合は、後見人が自	の算定方法」を変更する 正常保証人 氏 名 印) 要学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学 一届提出前に「『確認書』 こついて本申請を行 印 印してください。親権者が、 両親がいる場合は、必ず	ることを承討 名 - 公益財団法 生支援機構 連帯保証人	します。 人日本国際教に対してに変更・転居届 一 電話番 (昭和・月 電話番 (昭和・月 番 ・ 電話番 ・ 世年 ・ 日 日 ・ 日	育支援協会に支 を提出し を提出し ・ 号 平日 ・ 子 ・ ポれかが	会に委託しま 払うこととして てください。 年 であれば必合	東田 まままで、 ままままで ままま ままま ままま ままま まままま まままま	<u>日</u> してくださ し、余白に
保証制度 (該当を ② で選択 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	連帯保証 上記の者が「利率 機構届出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本 のみ記入 とけている奨学金し とれぞれの欄に自署・押日 とせで、通常は両親です。 いる場合は、後見人が自	の算定方法」を変更する 正常保証人 氏 名 印) 要学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学 一届提出前に「『確認書』 こついて本申請を行 印 印してください。親権者が、 両親がいる場合は、必ず	ることを承討 名 - 公益財団法 生支援機構 連帯保証人	します。 人日本国際教に対してに変更・転居届 一 電話番 (昭和・月 電話番 (昭和・月 番 ・ 電話番 ・ 世年 ・ 日 日 ・ 日	育支援協会に支 を提出し を提出し ・ 号 平日 ・ 子 ・ ポれかが	会に委託しま 払うこととして てください。 年 であれば必合	東印 すので、 なください。 月 月 押印スが記れ	<u>日</u> してくださ し、余白に
保証制度 (該当を ② で選択 □人的保証 (右欄を記入) □機関保証 ※機構届出の連帯保証人が債務整理(係 ■本人が未成年者の場合 上記の者が、現在貸与を受 親 住所(親権者・後見人) 者 氏名(自署) は 度所 (親権者) 人 氏名 (自署) 本人が未成年者の場合には、親権者がそい。親権者とは、民法に定める親権者のこっ人の旨を記入してください。後見人がい	正常保証 上記の者が「利率 機構属出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本 のみ記入 ・けている奨学金」	の算定方法」を変更する 正常保証人 氏 名 印) 要学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学 一届提出前に「『確認書』 こついて本申請を行 印 印してください。親権者が、 両親がいる場合は、必ず	ることを承討 名 - 公益財団法 生支援機構 連帯保証人	します。 人日本国際教に対してに変更・転居届 一 電話番 (昭和・月 電話番 (昭和・月 番 ・ 電話番 ・ 世年 ・ 日 日 ・ 日	育支援協会に支 う を提出し ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	会に委託しま 払うこととして てください。 年 であれば必合	東回 すので、 (ください。 月 月 月 月 1 1 1 1 1 1	<u>日</u> してくださ し、余白に
保証制度 (該当を ② で選択 ○ 人的保証 (右欄を記入) ○ 機関保証 ※機構届出の連帯保証人が債務整理(係 ■本人が未成年者の場合・上記の者が、現在貸与を受 親 住 所 (親権者・後見人) 者 氏 名 (自署) □ (親権者) 氏 名 (自署) ○ 人 氏 名 (自署) 本人が未成年者の場合には、親権者がでい。親権者とは、民法に定める親権者のご一人の旨を記入してください。後見人がい。 と記の届出を適当と認め 年 月	正常保証 上記の者が「利率 機構属出の連 (自署・押日 今後貸与を受ける。 保証料は貸与金額 被産等)中の場合は、本 のみ記入 ・けている奨学金」	の算定方法」を変更する 正常保証人 氏 名 印) 要学金の保証を、引き続き から独立行政法人日本学 一届提出前に「『確認書』 こついて本申請を行 印 印してください。親権者が、 両親がいる場合は、必ず	ることを承討 名 - 公益財団法 生支援機構 連帯保証人	します。 人日本国際教に対してに変更・転居届 一 電話番 (昭和・月 電話番 (昭和・月 番 ・ 電話番 ・ 世年 ・ 日 日 ・ 日	育支援協会に支 う を提出し ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Aに委託して 本もこととして てください。 年 年 本かいない場合 話番号 (東回 すので、 (ください。 月 月 月 月 1 1 1 1 1 1	日 してくださ し、余白に)

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報 (奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。 機関保証加入者につい ては、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。 また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会が あった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。